

社 寺

名 称 「子眉嶺神社」

所在地 駒ヶ嶺字大作

概 要 延喜式内名神大社である。延喜式神名帳には『宇多郡一座大子負名大神』と記されている。「子負嶺」がなぜ「子眉嶺」となったかについては諸説がある。

神社由緒によると、大宝2年(702)に仮宮がつくられ、延喜7年(907)に創設されたと伝えられている。祭神は「豊受比賣命とよけひめのみこと」である。

由緒については、都の姫の悲恋にまつわる物語りのほか、幾つかの説が伝えられているが、祭神についての伝説がすべて馬とかかわりをもっており、別称「奥之相善宮」として、馬体安全、相善信仰の神社になっている。

また、「片葉の芦」などの七不思議伝説がある。

名 称 「今泉薬師堂」

所在地 今泉字浜畑

概 要 行方郡泉(原町市)に泉長者といわれる人がいて、繁栄していたが、悪党におそわれて没落し、承平年間(931~938)に長者は守り本尊を背負って北に向い、新地の今泉に落ちつき、堂を建てて守り本尊を安置したと伝えられている。

福島県浜通りの、薬師如来12霊場となっている。

名 称 「拈華山ねんげざん法輪寺」

所在地 駒ヶ嶺字西久保

概 要 法輪寺は、天正9年(1581)に黒木肥前守宗元が開基したと伝えられている。

丸森の五峯山松音寺第6世菴賢貞大和尚が開山した。黒木守元は、志田郡師田(古川市)に移封になり、賢貞大和尚も示寂した後、衰微していった。宝永5年(1708)に、当時の駒ヶ嶺城主の富塚長門が私財を投じて再建し、師山から端川寺2世天岩洞水大和尚を請じて中興開山した。

なお、本堂に祀られてある福祿寿は、浜3郡7福神霊場として知られている。また、薬師如来は浜街道12薬師霊場の第11番となっている。